

国立大学法人島根大学役員会（第309回）＜議事要録＞

日 時 平成29年6月20日（木） 14:00 ～ 16:35
場 所 本部棟3階 特別会議室
出席者 服部学長，藤田理事，秋重理事，荒瀬理事，井川理事，松浦理事，江口理事
欠席者 なし
〔陪席：千家監事，教育・学生支援部長，総務部長，財務部長，監査室長〕

議事に先立ち，第308回役員会の議事要録について確認された。

議題1 島根大学山陰法実務教育研究センター規則の一部改正について

議題2 島根大学山陰法実務教育研究センター運営委員会規則の一部改正について

- 藤田理事から，資料1により前回役員会で指摘のあった新たな山陰法実務教育研究センターとしての目的，業務が教育のみに特化されている点を見直し，法実務教育に係る研究を加えることによりセンターとしての役割を明確にするための規則改正を行うとの説明があった。続いて，センター規則の改正によりセンターの活動内容が明確となったことから，資料2により山陰法実務教育研究センター運営委員会規則についても所要の改正を行うとの説明があり，議題1，議題2とも原案どおり議決された。

議題3 平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

- 学長から，資料3により前回役員会で議決後に変更を行ったことによる再審議であること，報告書の変更点と変更理由について説明があり，今後の文言の修正については学長一任としたうえで，原案どおり議決された。
なお，本件は6月12日の教育研究評議会で議決後の変更のため，7月10日の教育研究評議会で再審議の必要があるが，文部科学省への提出期限が6月末のため教育研究評議会では報告事項とすることとした。

議題4 早期退職者の募集について

- 藤田理事から，資料4により平成29年度の早期退職者募集の実施方法について説明があり，原案どおり議決された。

議題5 平成28事業年度決算書（財務諸表、決算報告書、事業報告書等）について

- 松浦理事から，資料5により文部科学省に6月末までに提出する平成28事業年度決算書と決算書に添付する会計監査人トーマツの監査結果について説明があり，原案どおり議決された。

議題6 平成30年度における電子ジャーナル等経費について

- 学長から，資料6により平成27年度第6期学術情報基盤整備計画の基本方針に沿って平成30年度の電子ジャーナル等の経費所要見込額を算出したこと，電子ジャーナルは提供価格が高騰しているが平成30年度は引続き電子資料の整備を行うことについて説明があり，原案どおり議決された。

協議事項 1. 定期モニタリングの実施について

1. 「情報システムリスク及び情報セキュリティ体制」について

- 藤田理事から、資料7により内部統制報告書の説明があった。
- 秋重理事から、情報セキュリティポリシーに情報セキュリティ対策基準を含めるかどうかの検討が課題として残っていること、新しいシステムを導入した際に情報セキュリティポリシーに合致しているかチェックする組織を検討中であることが報告された。
- 千家監事から、学生が持ち込んだPCやUSB等の機器の接続によるリスクについて、授業や情報セキュリティハンドブックの配布による情報教育だけでは不十分であるので、機器の接続制限をする等出来ないかとの意見があり、情報セキュリティ委員会で検討することとした。

2. 「入試業務の実施体制」について

- 藤田理事から、資料8により内部統制報告書の説明があった。
- 学長から、個々人への業務分担と責任の明確化や意識強化を徹底することが一番であること、学部等で実施している入試は学部任せの一面もあるので、全学として実態を調べてみることも必要ではないかとの意見があった。
- 荒瀬理事から監督者説明会等において入試ミスの事例を示すなどして、業務従事者に緊張感を持って貰うことが重要と考えているとの意見があった。

協議事項 2. 島大会員制度（案）について

- 藤田理事から、資料17により平成29年10月創設予定で進めている島大会員制度の趣旨、会員の対象者（島根大学支援基金への5,000円以上寄付者が会員となる）、寄付方法、会員の特典等の制度の説明があり、制度の方向性と大卒の枠組みについて意見を伺いたいとの趣旨説明があった。
- 千家監事から、1回5,000円の支援基金への寄付で会員になり、その後は寄付が無くとも会員であり続けるが、特典は毎年の寄付額により受けられることを明確にしておく必要があるとの意見があった。
- 千家監事から、特典の費用は支援基金から出ることの質問があり、松浦理事より支援基金で負担し、運営交付金から支出はしないとの説明があった。
- 島大会員制度の方向性、枠組みについて異論は無く、今後詳細について決定していくこととなった。

報告事項 1 超過勤務縮減について

- 松浦理事から、資料9により事務系職員を対象として超勤時間数の前年比20%削減の数値目標をたて長時間労働是正に向けての取組をすること、そのことを示した通知文を作成し送付することについて報告があった。
- 千家監事から、事務処理の簡素化を中期計画で取組むこととしているので、業務の見直しによる業務量の削減のため大学全体で取組む事を考える必要があるとの意見があり、松浦理事からIT化の推進を検討しているとの回答があった。

報告事項 2 平成 29 年度戦略的機能強化推進経費の配分について

- 松浦理事から、資料 10 により平成 29 年度戦略的機能強化推進経費の配分について、報告があった。

報告事項 3 島根大学における研究費の管理・使用について

- 松浦理事から、資料 11 により研究費の事務処理は各国立大学法人等で異なっていたが、文部科学省から事務処理の基準が示されことから、本学の定めるローカルルールの見直しを行い、事務担当者への説明会や教職員へのメール等での周知を行った後、7 月から運用を開始するとの報告があった。

報告事項 4 平成 29 年度 島根大学における節電計画（夏季）

- 松浦理事から、資料 12 により平成 29 年度の夏季節電計画の報告があり、使用電力料の対前年度比 1% 減を目標として大学全体で取り組むことについて協力依頼があった。

報告事項 5 附属病院運営状況について

- 井川理事から資料 13 により 5 月分の附属病院診療費用請求額について報告があった。

報告事項 6 平成 28 事業年度 監事の監査報告

- 千家監事から、資料 14 により平成 28 事業年度の監査結果について報告があった。

報告事項 7 国立大学法人における会計監査人の選任について

- 監査室長から、資料 15 により平成 28 年度の本学会計監査人として有限責任監査法人トーマツが選任されたことについて文部科学大臣から通知があった旨報告があった。

報告事項 8 総合ハートセンターの設置について

- 井川理事から、資料 16 により総合ハートセンターの設置について報告があった。